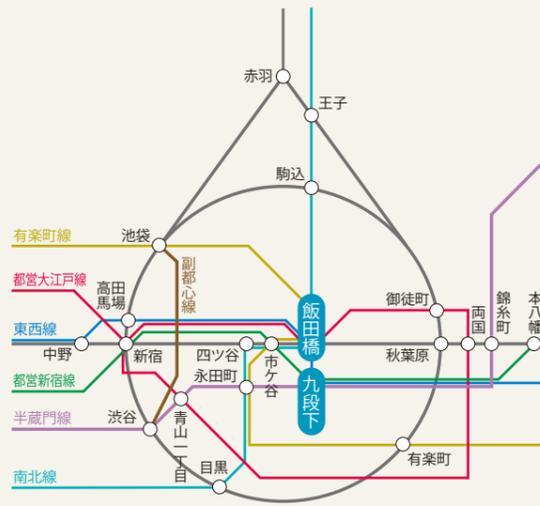


■ 路線案内図



■ 周辺案内図



九段下駅利用 東西線(出口1・7番利用) 半蔵門線(出口1番利用) 都営新宿線(出口1番利用)
 飯田橋駅利用 JR中央・総武線(西口利用) 有楽町線(出口B2a利用) 南北線(出口B2a利用) 都営大江戸線(出口B2a利用)

■ 令和7(2025)年度予定

学校説明会	5月31日(土)	7月12日(土)
入試問題解説会	8月30日(土)	
入試説明会	9月13日(土)	一般入試
	10月4日(土)	帰国生入試
	11月8日(土)	一般入試
入試直前受験生激励会	1月17日(土)	
エトワール祭(文化祭)	9月27日(土)	9:00~16:00
	9月28日(日)	9:00~15:30

※今後の広報イベント情報をご希望の方は、ホームページトップ「イベント申込」のバナーから「暁星中学2026年度入試広報情報」にアクセスしてお申し込みください。



暁星中学校・高等学校

〒102-8133 東京都千代田区富士見1-2-5

TEL:03-3262-3291(代表) FAX:03-3222-0269 <https://www.gyosei-h.ed.jp/>

暁星中学校・高等学校
 広報公式Instagram



暁星中学校・高等学校

Guide de l'école 2026



Ecole de l'Etoile du Matin



Vie de l'École de l'Étoile du Matin

Sous le regard de la Sainte Vierge Marie

聖母マリアの まなざしのもとで

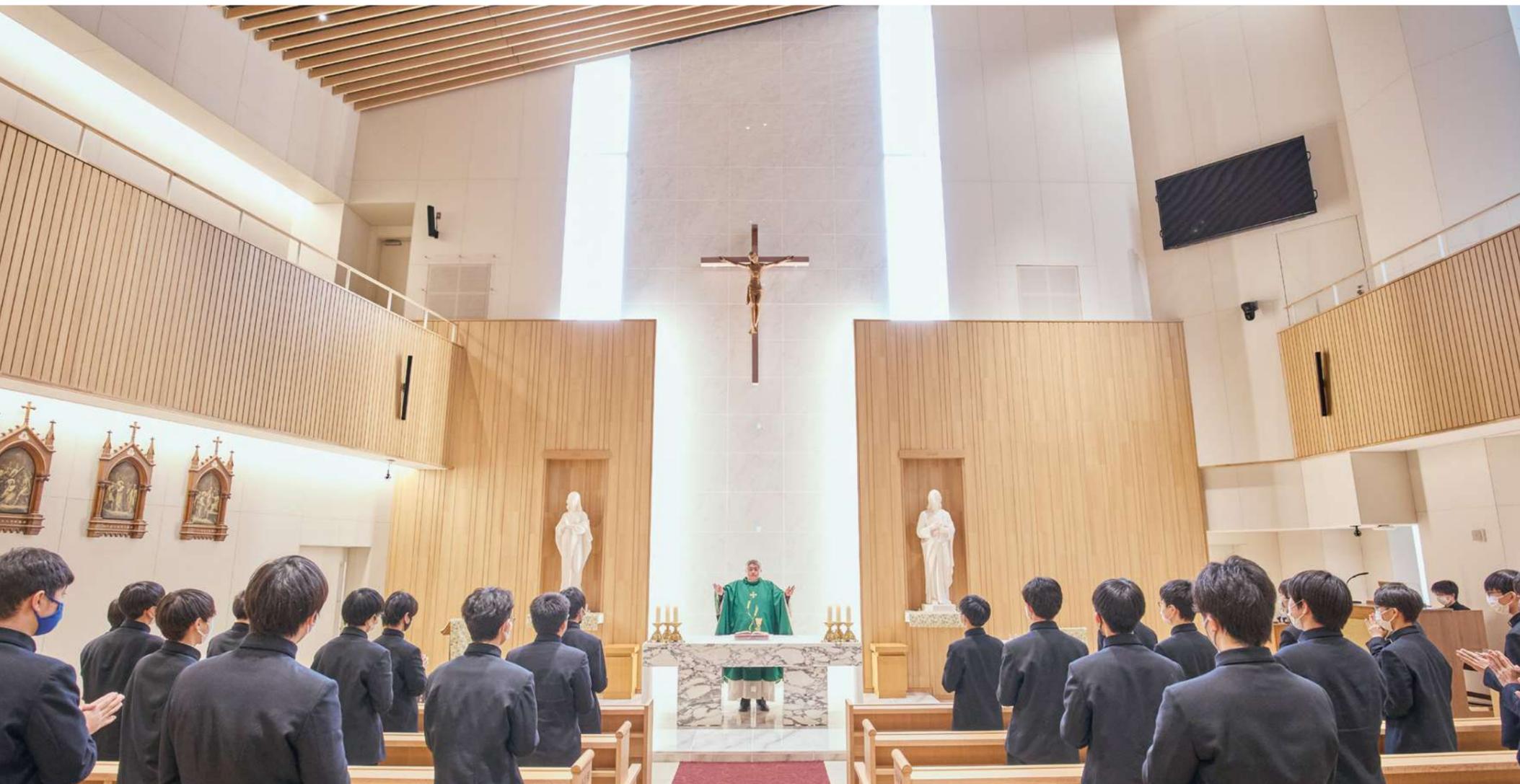


暁星は、競技かるたからサッカーに至るまで多様性に富む教育を実践する中で、日本と英語圏の言語・文化とモノの考え方を学べば「国際化」だと言わんばかりの昨今の風潮に抗して、日英に加えてフランス語を通じてフランス語圏の言語・文化とモノの考え方も習得できる教育を推進しています。こうして生徒たちは複眼的な思考能力、言い換えればマングローブのように何本も根を張ってぐらつかずに身をたてる力をつけ、併せてグローバル化がますます深化していく世界で生き抜くための幅広いコミュニケーション能力も得ます。これとともに、人格の「芯」として「地の塩、世の光」となって世の一隅を照らす人となるべしとの心の教育にも力を入れています。心と多様性に立脚する教育は、生徒が人生における正解はたった一つではない、様々な生き方があって良いのだとやがて理解し、自分が目指す生き方に向けて飛翔していく力も与えています。

同窓会長 石川 薫

暁星学園には、学問に励む生徒、運動に力を注ぐ生徒、文化活動に情熱を注ぐ生徒がそれぞれ存在し、その多様な姿を生徒同士が互いに認め合い、尊重し合う風土があります。先生方もその個性を大切に、温かく見守りながら、生徒一人ひとりと信頼関係を築いてくださっています。こうした関係は卒業後も続き、先生と卒業生、そして卒業生同士の絆が今も深く保たれています。暁星学園は、規律ある教育の中にも自由と寛容があり、生徒の個性と自主性を育む環境が整っています。また、キリスト教の精神に基づく人間教育を土台に、語学力をはじめとした国際的な視野を育てる取り組みも進んでおり、伝統と革新が共存する、非常に魅力的な学園です。私は、暁星学園が目指す「人間力」「国際力」「伝統力」を兼ね備えた教育に、強い誇りと期待を抱いています。

後援会長 千葉 義之



学校長挨拶

暁の星に導かれて！ 高田 裕和



創立者 A.ヘンリック神父と
第21代校長

キリストが弟子たちに「全世界に行ってすべての人に福音(よい知らせ)を告げ知らせなさい」と命じられたときから現代にいたるまで、多くの宣教師たちがその言葉を実現するために、全世界の隅々にまでキリストの福音、「よい知らせ」を携えて出かけています。暁星学園の設立母体である男子修道会「マリア会」も、5名の宣教師を日本に派遣し、主に「教育」の分野で宣教に携わるようになりました。1888年、日本到着後時を待たずして、日本におけるマリア会の宣教事業が「暁星学校」として東京築地に始まりました。その日から137年の月日が流れています。

現代社会は多種多様な価値観と情報技術の発達により世界が身近になると同時に、価値観の多様化によって人間関係が不安定になるとともに、「わたし」という存在そのものに真の価値を見出せなくなり、他者との比較の中でしか自分を評価できなくなっています。それは「教育」という名のもとで、ある事柄の出来不出来によって、「ひと」の評価がなされています。

創世記の1章31節に、「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。」と記されています。この言葉は皆さんにどのように響いているでしょうか。創造主である神が、被造物すべてを眺めておっしゃった言葉は、「極めて良かった」です。被造物である私たちは、「よいもの」と創造主に保証されているのです。人がなんと云おうと、存在そのものが創造主に保証された存在なのです。

暁星は、創立以来多様性を重んじ、それぞれが持つ価値を豊かに表現できる環境のもと、一人ひとりの「人格形成」を大切にしてきました。フランス語、英語を窓口として世界の文化との接点を築き、視野を広げるために語学を学び、自分が受けたものを他者のために用いる奉仕の精神を育むこと。さらに、それだけに満足するのではなく、その事実を通して、人が豊かになり本来の在り方に近づく姿を、自分の喜びや幸せとして感じることで人間を育てることが、本校の教育目標です。

多くの卒業生が現代社会の中で、様々な分野でこのような思いを胸に活躍していることは、本校の大切な財産であると同時に「教育」の実りであり、

このことは、まさに神が「すべてはよい」と確認してくださった実りであり、キリストが「すべての人に福音(よい知らせ)を告げ知らせなさい」とおっしゃったことの体現に他なりません。

5名の宣教師から始まった本校の「教育」は、今やそれによって形作られた、新たな「宣教師」によって、全世界に広がっています。

大海原に行く船が、星を目印に目的地に到達するように、あかつきの星、マリアを意味する「暁星」と名付けられた学校の生徒は、聖母マリアの導きによって自分の目指す目的地に到達することでしょう。

現実と理想のギャップを埋めることは簡単ではありませんが、積み重ねてきた歴史と、現在の姿、そして未来への希望を携えて、「暁星」の使命を果たすべく邁進したいと思います。

基本方針

全人教育と個性尊重の教育

宗教心と良心の育成

ヒューマニストの育成

正義と平和の教育

家庭的な校風

建学の精神

キリストの愛の理念に基づく教育によって、
人格の完成を目指すとともに
社会の福祉に貢献する人間を育成すること。
イエス・キリストの、神と人を愛する生き方が
人間にふさわしい自己実現の道であるという教を
教育の土台としています。

校歌

北原白秋 作詞 山田耕筰 作曲

来れ我に黎明	思へ常に平和を
開け雲の翼	守れ人の信
光あり燦らに	響ありまさしく
言ある星	空を呼ぶ旗
暁星 暁星	暁星 暁星
我等が理想	我等が希望

学園の歴史

1888年、フランスとアメリカから来日したカトリック・マリア会の宣教師5名が当時外国人居留地であった築地に創立しました。フランス人1名、ポルトガル人2名、日本人3名が入学し、少人数ながら国際色豊かな暁星学園の歴史が始まります。以来、各界で活躍する人材を数多く輩出してきました。

初代校長
アルフォンソ・ヘンリック神父



初代校長
アルフォンソ・ヘンリック神父

1888 (明治21年)

2月、5名の宣教師が東京・京橋区築地に開校

1890 (明治23年)

現在地に移転

1899 (明治32年)

中学校設立



雪が降り積もったグラウンドで遊ぶ子供たち



終戦前の正門
二合半坂に面して造られていた



空襲で焼けた中学校
校舎本館2階以上が焼失した

1947 (昭和22年)

新学制により
暁星中学校開校

1948 (昭和23年)

高等学校設立

1969 (昭和44年)

幼稚園併設

1988 (昭和63年)

創立100周年記念事業として現在の校舎が完成



現校舎

2010 (平成22年)

学園発祥の記念碑を中央区築地に建立



2018 (平成30年)

新講堂・体育館完成



2020 (令和2年)

マリア館完成

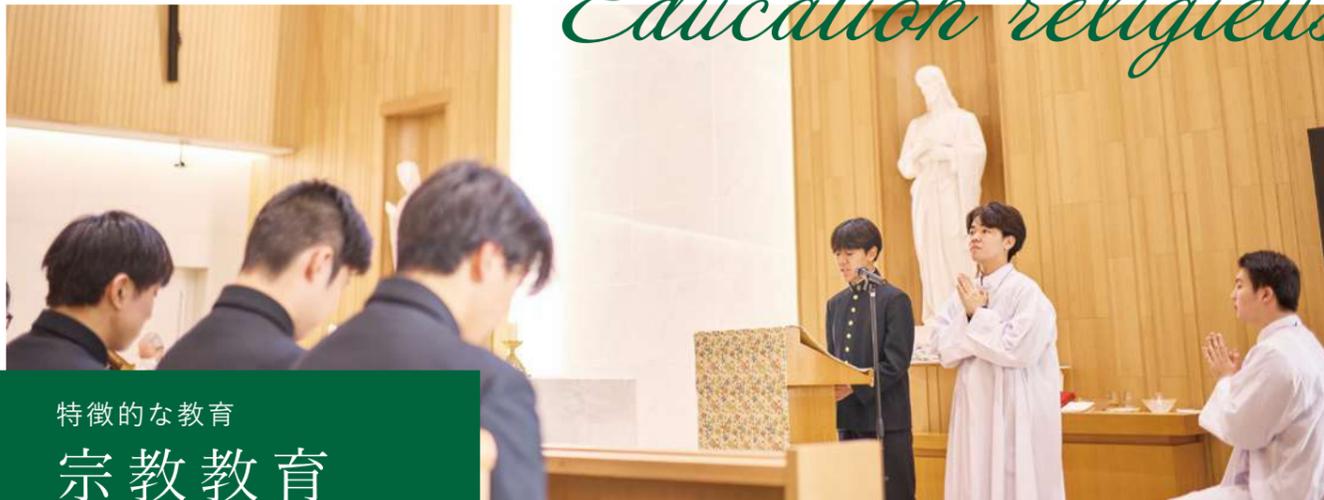


2022 (令和4年)

新聖堂完成



Éducation religieuse



特徴的な教育 宗教教育

キリストの愛の理念に基づいた本校独自の教育です。



宗教の授業

6年を通して隣人愛に生きることを目標にしています。



ミサ

ミサは、カトリックの中で最も大切な祈りです。祈りの中で、自分の受けた恵みを人と分かち合い共に生きるキリスト教の精神を養います。



ボランティア活動「シャリテ」

慈善を意味するフランス語に由来しています。募金活動等を通してイエスの教えを実践しています。

キャリア教育

高校2年生の授業では、卒業生が自分の生き方を語るキャリアプログラムを実施しています。これまでに、医師、獣医師、弁護士、公認会計士、報道記者、CMクリエイター、マンガ家といった卒業生に協力してもらいました。生徒はこの授業を通して、キャリアを意識し学習することの意義を見つめ直します。

教員の声



宗教担当
松本 洋

イエス・キリストは「許されることの少ない者は、愛することも少ない」(ルカ7・47)と語っています。高校3年生の定期試験で「人と生きるとはどういうことか」という問題を出しました。ある生徒が「『人に迷惑をかけて成長しなさい。でも、人の迷惑をゆるせる大人になりなさい』という言葉が印象に残っています。人は当然、誰かに支えられて生きています。その当たり前のことを忘れて、他の人の迷惑にすぐに不満を感じてしまいます。僕もそうです」と書いてきました。人と共に生きる暮らしの中で、愛を感じ取る心が育っていることを思いました。

「神は赦す」というキリストの愛に気づくことは、厳しい時代を生きる人びとを支える恵みであると信じています。

師田 諒

宗教について

僕はキリスト教というものについて何も知らないまま入学しました。まだまだわからないことばかりですが、一年間授業を受けて、聖書に書いてあることの意味が少しずつわかるようになりました。それは、人を思いやることの大切さです。宗教の授業で得た学びを活かし、他人も自分も大切に生きていきたいと思えます。



Éducation mondiale



特徴的な教育 グローバル教育

本校では創立以来、英仏2ヶ国語教育を実践しています。中学校ではフランス語・英語のいずれかを第一外国語(週6時間)、他方を第二外国語(週2時間)として選択します。フランス語と英語を共に学ぶことで、豊かな国際感覚を身につけることができます。

フランス語

エトワールコース

(フランス語：週6時間、英語：週2時間)

2022年度より第一外国語仏語選択をバイリンガルを目指すクラスとし、入門者に対しても段階的に仏語を用いながら授業運営を行っています。



カリキュラムは新学習指導要領に加え、フランスが世界展開するプログラムを踏まえ、仏語で他教科(社会科)の内容を学ぶ試みも実施しています。昨年、本校のこの試みは仏国民教育省と仏外務省が推進する教育プログラムとして日本で初めて認定されました。

多様化する日本の大学入試に加え、仏語圏の大学への留学も視野に入れながら各種仏語検定試験対策やフランスの中学高等学校との対面、非対面交流も行います。

コリブリ(日仏高等学校ネットワーク)

仏大使館支援の交換留学制度。加盟校は日仏で60校を超え、毎年3週間のホームステイや授業参加を通じて異文化交流を体験します。

英語

学習アプリの導入

2020年度から中学校はELST、高校はスタディサプリを導入しています。

エッセイライティング

高校生は年に2~3回、英文エッセイを書き、ネイティブ教員が添削をしています。英会話やプレゼンテーションの基礎を固めるとともに、大学入試で求められる表現力や思考力を養います。

海外研修の拡充

2025年度よりターム留学(英語圏、約3ヶ月)、高1の夏にセブ島語学研修(2週間)を行っています。

ネイティブ教員による授業の拡大

2022年度より中学生の週6時間の英語授業のうち2時間をネイティブ教員が担当し、発信力を高めています。

マリアニストスクール ハワイ姉妹校交流

2025年度よりハワイにある姉妹校を訪問し、経営母体のマリア会の学校として交流するプログラム(1週間)も行っています。

生徒の声



外国語について

僕は中学受験をして暁星に入学しました。フランス語の授業があることは入学前から知っていましたが、はじめて触れるフランス語を理解できるか、少し不安に思っていました。しかし実際に授業を受けてみると、回を重ねるごとにフランス語がわかるようになってきました。フランス語の文法は英語と似ているので、それほどおそれることはありません。皆さんもぜひ暁星に入学し、私たちと一緒にフランス語を勉強しましょう。

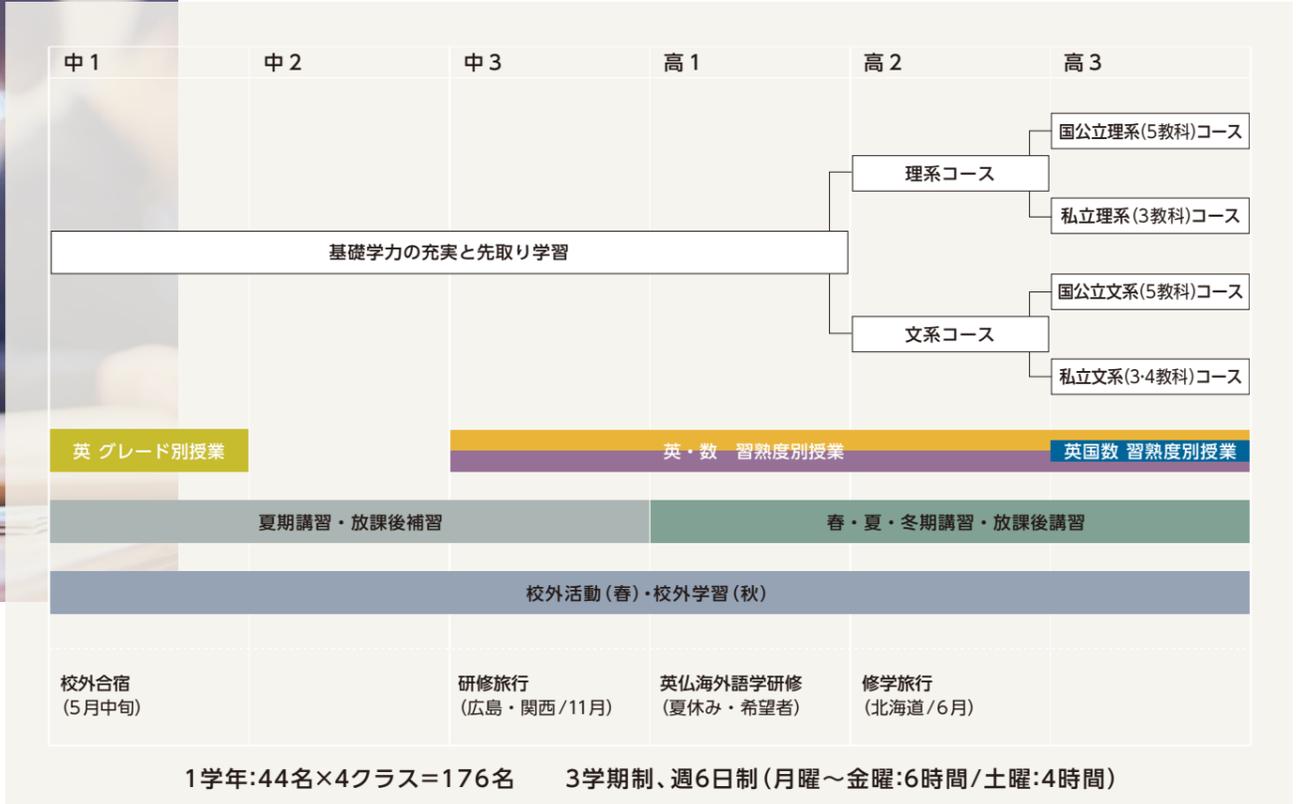
宗 壽太郎





暁星の教育 6年間の流れ

中学1年生では基礎学力の充実に図るとともに、英語でグレード別授業を取り入れています。
 中学3年生から数学、英語で習熟度別の授業を実施しています。
 高校2年生で文系と理系のコースに分かれ、高校3年生からは志望コース別のカリキュラムを用意しています。
 大学受験に備えると同時に自立した社会人として必要な資質を養います。



国語

生徒自身の発言や作文を大事にしています。自らの意見を発信することや多くの主張に触れることを通して、考える力、伝える力、聞く力の充実に図ります。また、中学3年生より古文・漢文の時間を用意しています。高校卒業までの長い時間をかけて、古典を尊重し、古典から学ぶ姿勢を身につけていきます。

主要5教科 授業時間数(週当たり)

	国語	数学	社会	理科	第一外国語
中1	5	5	4	4	6
中2	4	5	5	4	6
中3	5	6	3	4	6
高1	5	6	4	4	6
高2文系	8	5	8	2	6
高2理系	5	6	4	8	6
高3文系5教科	7	6	7	3	6
高3文系4教科	7	6	7	-	8
高3文系3教科	10	-	7	-	8
高3理系5教科	6	8	3	7	6
高3理系3教科	3	10	-	7	8

*第二外国語は週2時間

数学

中高一貫のメリットを活かし、独自のカリキュラムを組んでいます。数学は一つの単元をしっかりと理解した上で次の単元に進むことが大切です。そのため、個別指導や補講など丁寧な学習支援を行い、理解の徹底に努めています。こうした指導を積み重ねていくことで、生徒は限られた条件から答えを導き出そうとする論理的思考力や問題解決能力を培うこととなります。

実力テストと進学資料

長期休暇明けには実力テストが実施されます。各教員は、多くの生徒が目指す難関大学の入試問題を研究・分析し、その蓄積をもとに練り上げた問題を出題しています。
 特に高校3年時の実力テストの結果は、過去の生徒の成績をまとめた本校独自の「進学資料」を参考にすることで、合格可能性を示す指標となっています。「進学資料」は中学生にも配布され、実力テストの結果を真剣に受け止め、日々の授業や学習を大切にしようという気持ちを促すものとなっています。

社会

中学校では好奇心・探究心を涵養し、高校では思考力・理解力の向上に努めることで、市民として生きる力を育てます。中学校の授業では、生徒が新聞や文献から得た情報をもとに考察をまとめたり、教員が生資料を紹介したりと、様々な取り組みを実施し、生徒一人ひとりの独自の視点を養っています。

「こんなこともやっています！」〔特別活動実施例〕

講習

- 小論文(複数教科の教員による指導)
- 日本史(近世～近現代の文化史)
- 地理(地誌分野の講義と演習)
- 数学(私立医学部の過去問を解く)
- 物理(力学分野の発展的内容)
- 化学(天然物有機化学特別演習)
- 英語(初中級者向けリスニング&音読演習)
- 仏語(長文読解一時事、生活文化に関するテーマ)
- 美術(美術・建築系受験用デッサン実習。学年不問)

校外活動・校外学習

- 地引き網体験
- 伝統芸能鑑賞・ワークショップ(落語、能狂言など)
- 大学・研究施設・官公庁などへの職場訪問
- 都内近郊教会めぐり

安全講習・特別授業

- 中1オリエンテーション(SNSマナー、いじめ防止授業など)
- 現役医師による医療体験講座
- 大学教員による出前授業
- 劇団員によるコミュニケーション授業
- フットサル日本代表選手によるワークショップ
- 専門企業によるプログラミング短期集中研修

理科

中高の6年間で物事を深く掘り下げ、科学的に判断する力を養うことを目標としています。中学では基礎的な実験に繰り返し取り組むことで、理科という教科の面白みに触れてもらいます。理系志望の生徒が多く、教科書の範疇に収まらずに、大学レベルの内容を取り上げることも少なくありません。理科への興味を喚起させるとともに、大学での学びにもスムーズに結びつけていきます。

生徒の一日



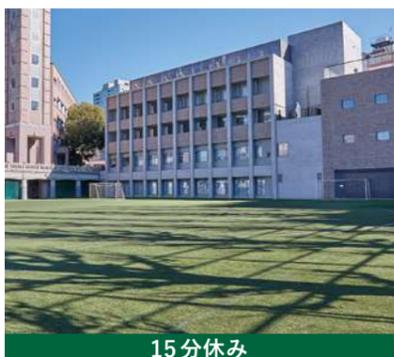
登校

朝のホームルームは8:15に始まります。



1～2時間目

8:25から授業に入ります。



15分休み

多くの生徒がサッカーや野球など、体を動かして遊びます。



5～6時間目

多目的棟では調べ学習もできます。



昼休み

昼休みに自習している生徒もいます。



3～4時間目

2面ある人工芝グラウンドでは体育の授業や運動会を行います。



クラブ活動

体育系も学芸系も、活発に活動しています。



伝統ある制服

100年以上前にデザインされた七つボタンに金の襟章は今も暁星の象徴です。



保護者の声

中学に入塾してから部活動(サッカー部)の朝練のため、毎朝自宅を5時半に出ます。初めのうちはこれが6年間も続くのか、と私の方が気が遠くなりましたが、子供はすぐに慣れました。放課後も部活動があるため、帰宅は18時半くらい。授業を受け、部活動に励み、と忙しくしているうちに、空いた時間をうまくやりくりする方法を自然と身につけることができました。心も身体も大きく成長する6年間に、先生や友人たちと学校で過ごす時間はとても充実していて、学校は彼にとって「第二の我が家(!?)」になっているようです。

年間行事

様々な行事があり、生徒は充実した学校生活を送ります。

4月 Avril

- 中学入学式
- 高校入学式
- 中1オリエンテーション
- 校内実力テスト(中2～高3)
- 校外活動

5月 Mai

- 中間試験
- 校外合宿(中1)

6月 Juin

- 修学旅行(高2)
- 運動会
- 防災体験(中1)

7月 Juillet

- 期末試験

8月 Août

- 夏期講習
- 語学研修(高1)

9月 Septembre

- 校内実力テスト

10月 Octobre

- 文化祭
- 中間試験

11月 Novembre

- 創立記念日
- 研修旅行(中3)
- 校外学習
- 校内実力テスト(高3)
- サッカー大会

12月 Décembre

- 期末試験
- クリスマスミサ

1月 Janvier

- 校内実力テスト
- 書き初め(中学)

2月 Février

- 生徒会行事

3月 Mars

- 学年末試験
- 中学卒業式
- 高校卒業式



入学式 厳肅な雰囲気の中で行われます。



中1オリエンテーション 始業式の翌日から3日間行われます。安心して学校生活をスタートできます。



運動会 6月に行われます。



校外合宿(中1) 中学1年生は5月中旬に、長野県の蓼科で合宿を行います。



高2 修学旅行 北海道の自然や文化に触れます。



文化祭 9月末、もしくは10月初旬に行われる文化祭はフランス語の校名にちなんで「エトワール祭」と呼ばれます。



中3 研修旅行 広島では平和祈念ミサを捧げます。

Journée d'un élève

Manifestations annuelles

クラブ活動

体育系と学芸系、様々なクラブがあります。生徒は普段の教室とは異なる場で多くの仲間と共に、かけがえない経験を積み重ねていきます。



詳しい活動内容はホームページをご覧ください ▲



Q & A

Q1

どのような雰囲気の学校ですか。

少人数で中1からの6年間を共に過ごすため、生徒同士は強い絆で結ばれています。また生徒と教員の距離も近く、家庭的な雰囲気のただよう学校です。一人ひとりが自分の個性を発揮しながら、全体としてはまとまりのある集団で、運動会や文化祭などの学校行事は生徒主導で明るい盛り上がりを見せます。

Q2

キリスト教の信者ではないのですが、困ることはありますか。

困ることはまったくありません。信者の生徒は各クラス数名程度です。また、宗教の授業は、キリスト教にはじめて触れる生徒がいることを前提に行われますし、ミサなどに際しても特に予備知識は必要ありません。信者であるかどうかにかかわらず、生き方を見つめ直し、よりよく生きるための機会として、じっくり学んでいきましょう。

Q3

英語とフランス語の勉強を両立できるか心配です。

教員もそれを理解した上で授業を行いますし、英語とフランス語を比較しながら学ぶことで、より理解を深めることができます。日々の授業や課題に真剣に取り組めば、両立は難しくありません。

Q4

暁星小学校出身の生徒と仲良くなれるか不安です。

入学直後には3日間のオリエンテーションがあります。日々の授業や部活動等を通じて、入学後1ヶ月も経つ頃には、自然と皆が仲良くなっています。期待や不安を持って入学するのは、暁星小学校出身の生徒も同じです。皆で新しい関係を築いていきましょう。

Q5

勉強と部活動の両立は難しいですか。

徐々に慣れていくので、何も心配することはありません。心身の健康に気を配り、規則正しい生活を心がけることが肝心です。勉強と部活動、両方に一生懸命に取り組んでいる先輩は、皆そのどちらにおいても成果をあげています。仲間同士支え合いながら、充実した学校生活を送りましょう。

Q6

講習や補習はありますか。

中学生は夏休みを中心に、授業に準じた内容の講習を受講することができます。高校になると、放課後にも基礎レベルから発展レベルまで様々な講習が設けられます。生徒はその中から自主的に選んで受講しています。その他、教員が生徒の学習状況に応じて定期的に補習を実施しています。生徒と教員の距離が近いため、職員室に質問に来る生徒もたくさんいます。

Activité de Club

施設紹介

校内に一步足を踏み入れれば、都心であることを忘れてしまうような落ち着いた雰囲気に包まれています。

Aperçu des installations scolaires



上グラウンド

上下2面のグラウンドがあります。人工芝で整えられており、授業やクラブ活動の他、サッカー大会や中高同時開催の運動会も、すべてこのグラウンドで行われます。



下グラウンド



聖堂

暁星教育の中心の場です。いつでもお祈りすることができ、ミサが行われます。



食堂

定食やめん類を用意して営業しています。



保健室

地域医療機関とも連携し、生徒のケガや病気に迅速に対応します。



相談室

専門のカウンセラーが相談を受けます。



ヘンリックホール

本校舎を正面にいます。初代校長アルフォンス・ヘンリック(1860~1939)にちなんだ名です。



図書館

蔵書は約42,000冊。自習スペースもあります。



視聴覚教室

大画面で映像教材を視聴できます。文化祭での映像作品の上映、外部講師を招いての講演なども行われます。



情報教室

クラス全員が、一人一台使用できる数のiPadを用意しています。



階段教室

大学の講義室のように座席が階段状に配置されています。



理科教室

物理・化学・生物・地学・中学理科と、5つの実験室があります。



多目的棟 (マリア館)

情報教室や柔剣道場、食堂、委員会室等があります。大きい吹き抜けの窓に面したテラスは、生徒たちの憩いの場です。



音楽室

授業や音楽部、室内楽研究部の練習が行われます。グランドピアノ2台、レッスン室があります。



美術室

美術・技術の授業が行われます。



柔道場

多目的棟にあります。有志が昇段試験に向けて、朝稽古に励んでいます。



剣道場

柔道場の隣にあります。主に剣道部が利用しています。



トレーニングルーム

多目的棟にあります。本格的なトレーニング設備が整っており、生徒は誰でも利用できます。



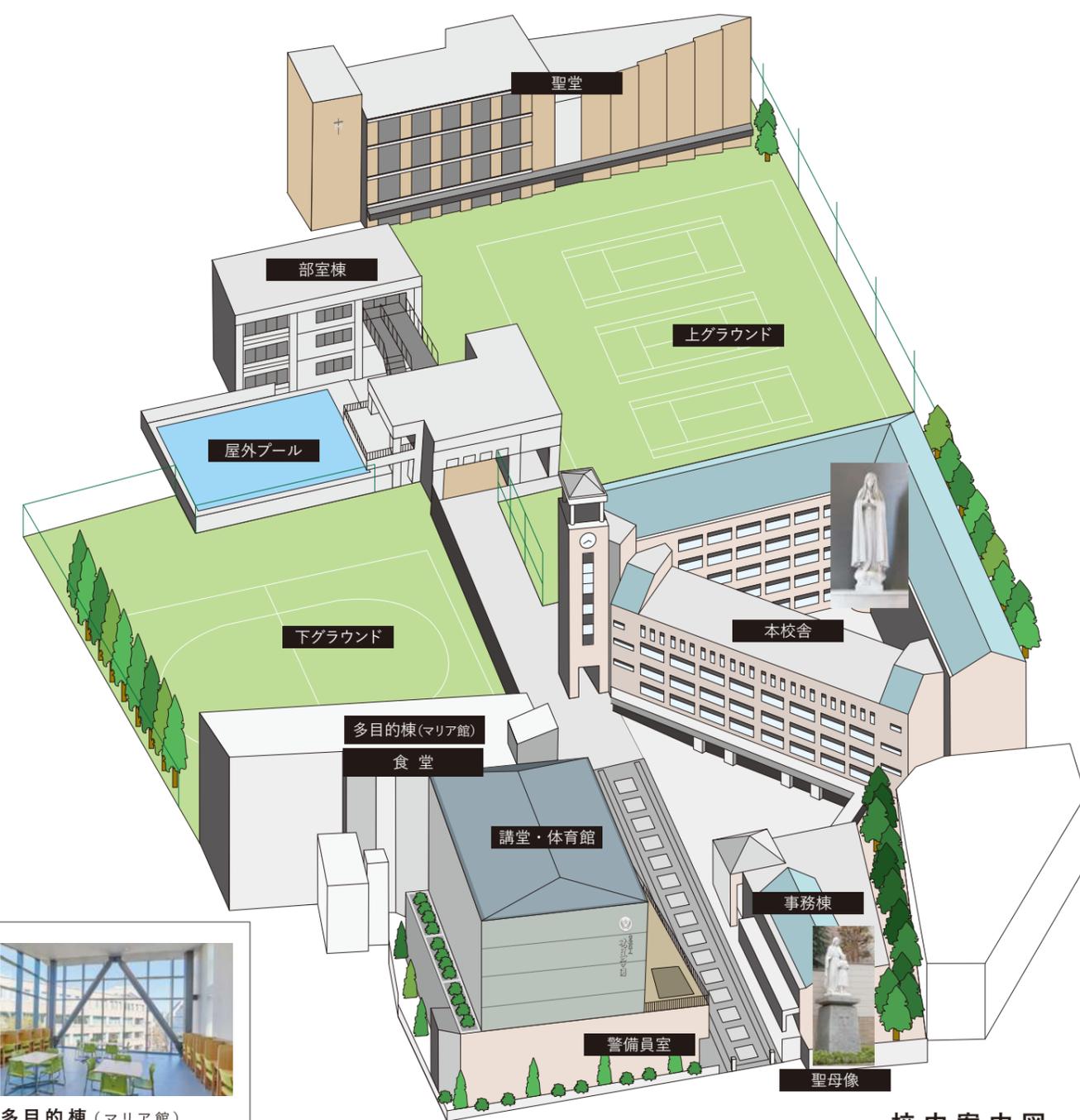
警備員室

警備員が24時間常駐しています。



講堂・体育館

2018年に完成しました。



校内案内図

